

2022年1月1日～2022年12月31日の間に

岡山大学において献体をされたご遺族の方へ

「腎周囲の fascia の研究」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
研究機関長 研究科長 大塚愛二

|       |               |       |            |
|-------|---------------|-------|------------|
| 研究責任者 | 岡山大学病院        | 泌尿器科  | 講師 小林泰之    |
| 研究分担者 | 岡山大学医歯薬学総合研究科 | 人体構成学 | 助教 百田龍輔    |
|       | 岡山大学医歯薬学総合研究科 | 人体構成学 | 教授 大塚 愛二   |
|       | 岡山大学医歯薬学総合研究科 | 人体構成学 | 技術職員 小見山高明 |

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

泌尿器科にて行う腎悪性腫瘍手術において、腎周囲脂肪織を取り巻く様に存在している“fascia”と呼ばれる膜様の構造物をメルクマールに手術をしています。しかしながら、近年の内視鏡技術の進歩に伴って、これらの“fascia”の概念は大きく変化し、従来の認識では手術解剖が理解できない状況が生じてきています。本研究においては、献体より腎臓並びにその周囲臓器を採取し、腎周囲の“fascia”をミクロに観察し、その構造を明らかにしたいと考えています。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

腎悪性腫瘍に対する手術では、経腹的アプローチと後腹膜アプローチと2つのアプローチがあります。経腹的アプローチでは、手術中に上述した“fascia”を膜構造として視認することが容易ですが、後腹膜アプローチで同じ場所を剥離展開しているにもかかわらず、明確な膜として“fascia”を確認する事は難しいことがあります。本研究により、泌尿器科医が困惑している、アプローチによるこの膜構造の認識の相違を説明できるようになればと思っています。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2022年1月1日～2022年12月31日の間に岡山大学において献体された3名を研究対象とします。

生前に自由意志による献体の同意を本人から文書で取得した御遺体。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2023年3月31日

### 3) 研究方法

2022年1月1日～2022年12月31日の間に、岡山大学において献体された方3名を研究者が解剖を行い、腎周囲の“fascia”の構造を明らかにします。

### 4) 使用する試料

ご遺体の一部である腎臓とその周囲の臓器を調べますが、ご遺体の氏名などの情報は削除し、匿名化して、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきますが、ご遺体の氏名などの情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢，性別，手術歴，既往歴

### 6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病泌尿器科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

### 7) 研究計画書および個人情報の開示

内容についてお分かりになりにくい点がございましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はご遺体のデータを氏名や生年月日などの個人を識別できる情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、献体者の試料・情報が研究に使用されることについて御遺族がご了承いただけない場合には研究対象としますので、御遺族の方は2022年4月末日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合は献体者の方々に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 泌尿器科

氏名：小林泰之

電話：086-235-7287（平日：9時～17時）

ファックス：086-235-7287